

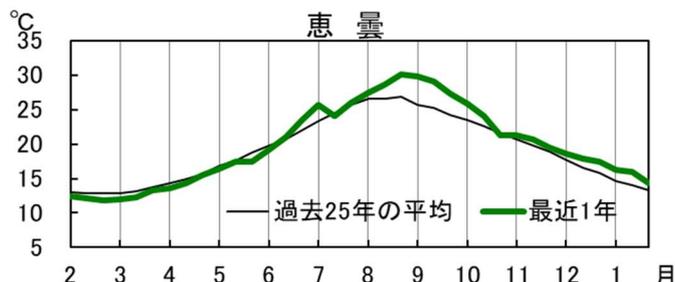
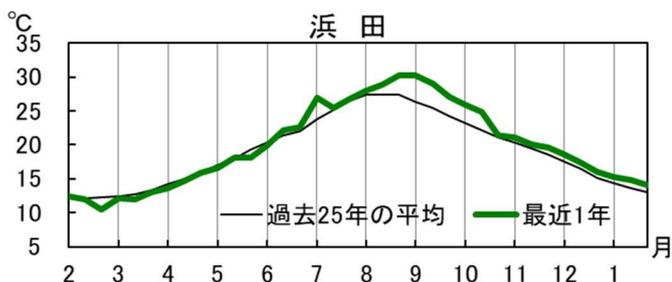


(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《1月の海況》



1月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	かなり高め	14.6°C	+0.9°C	はなはだ高め	15.5°C	+1.6°C
中旬	かなり高め			はなはだ高め		
下旬	かなり高め			かなり高め		



《1月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではサバ類主体の漁況でした。魚種別の漁獲量は、サバ類は平年の2.3倍、前年の1.3倍、マアジは平年・前年の7割でした。隠岐地区ではサバ類主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は66.4トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量は、サバ類は1,018トンで平年の9割、前年の3割、マイワシは264トンで平年の3.9倍、前年の8割、マアジは167トンで平年の4割、前年の9割でした。

【イカ釣り漁業】

1月は浜田地区（属地5トン以上）、西郷地区（属人5トン以上）ともに漁獲がありませんでした。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではアンコウ類、ヤリイカ、キダイを主体に、1統1航海当りの漁獲量は17.3トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量は、アンコウ類は平年の2.0倍、ヤリイカは平年の2.9倍、キダイは平年の1.3倍でした。その他、ヤナギムシガレイは平年の2.1倍、アナゴ・ハモ類は平年の1.6倍、マダイは平年の1.4倍、ムシガレイは平年の1.1倍と好調でしたが、ソウハチおよびマフグは平年の1.0倍、アカムツは平年の7割の水揚げでした。

【小型底びき網漁業】

大田地区（和江・久手）ではニギス、ソウハチ、アンコウ類主体の漁況で、総漁獲量は77.0トンでした。1統1航海当りの漁獲量は676kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、ニギスは平年の1.3倍、ソウハチは平年の3割、アンコウ類は平年の3割でした。その他、ヤリイカは平年の1.5倍、マダイは平年の1.0倍、キダイおよびヒラメは平年の8割、マトウダイは平年の6割、アカムツおよびアナゴ・ハモ類は平年の4割の水揚げでした。

【定置網漁業】

出雲地区ではブリ、マアジ、スズキ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は7.7トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、スズキは平年の1.0倍でしたが、ブリは平年の5割、マアジは平年の8割でした。石見地区ではブリ、サワラ類、スズキ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は6.0トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、サワラ類は平年の4.4倍、スズキは平年の3.1倍でしたが、ブリは平年の5割でした。隠岐地区ではスルメイカ、ヤリイカ、カワハギ類主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は5.3トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、ヤリイカは平年の5.0倍、カワハギ類は平年の4.3倍でしたが、スルメイカは平年の9割でした。

【釣り・縄】

出雲地区ではサワラ類、ブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は33.0kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、サワラ類は平年の7割、ブリは平年の4割でした。石見地区ではブリ、クロマグロ、サワラ類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は21.5kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、ブリは平年の3割、クロマグロは平年の5割、サワラ類は平年の7割でした。隠岐地区ではブリ、カサゴ・メバル類、キントキダイ類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は21.2kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、ブリは平年の2割、カサゴ・メバル類は平年の3割、キントキダイ類は平年の4割でした。

【令和8年1月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)		
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %
中型まき網	浜田	サバ類	—	—	—	—	—	—
	隠岐	サバ類	1,527トン	37%	60%	66.4トン	89%	161%
イカ釣り (5トン以上)	浜田	—	—	—	—	—	—	—
	西郷	—	—	—	—	—	—	—
沖合 底びき網	浜田	アンコウ類、ヤリイカ、キダイ	173トン	100%	113%	17.3トン	120%	130%
小型 底びき網	大田	ニギス、ソウハチ、アンコウ類	77.0トン	61%	49%	676 kg	104%	90%
定置網 (大型)	出雲	ブリ、マアジ、スズキ	69.1トン	42%	64%	7.7トン	46%	63%
	石見	ブリ、サワラ類、スズキ類	12.0トン	26%	71%	6.0トン	26%	77%
	隠岐	スルメイカ、ヤリイカ、カワハギ類	10.7トン	103%	69%	5.3トン	155%	81%
釣り・縄	出雲	サワラ類、ブリ	10.5トン	38%	53%	33.0 kg	82%	88%
	石見	ブリ、クロマグロ、サワラ類	5.4トン	30%	38%	21.5 kg	76%	75%
	隠岐	ブリ、カサゴ・メバル類、キントキダイ類	2.2トン	15%	21%	21.2 kg	65%	74%

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

- ※ 水温の評価「はなはだ〇〇」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ
「かなり〇〇」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ
「やや〇〇」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ
「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ